

仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 223

3 森のおくりもの

2010年 3月号

キレンジャク



IBUKI

先月は旧正月（2月14日）を迎えたせい、結構寒い日が続き、雪も降ったので、お山を訪れるお客さんも少なく静かな時をすごしました。今月は例年だとキクザキイチゲ、アズマイチゲ、ニリンソウ、カタクリ、スミレの仲間等々が目を楽しませてくれます。一日一日お山から目を放すことが出来ない忙しい時間をすごしそうです。皆さんもご一緒にいかがですか・・・。（武智）

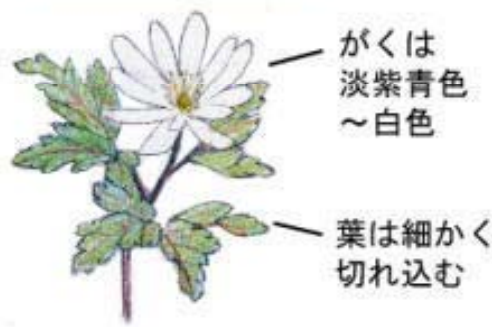
春は大忙し!! アズマイチゲとキクザキイチゲ

観察の森では、春一番に咲くマンサクが咲きはじめ、シジュウカラやヤマガラがさえずりを始めました。まだ寒い日が続きますが、春はもうすぐです♪今回は、早春の観察の森で可憐に咲くアズマイチゲとキクザキイチゲをご紹介します。

アズマイチゲ



キクザキイチゲ



☀️ 花は晴れの日に咲いて、太陽の動きを追うように向きを変えます。

アズマイチゲ、キクザキイチゲはいずれもアネモネの仲間（キンポウゲ科）で、落葉樹林内に生える多年草です。この2種は同じ時期に同じ場所で咲くことが多く、花の形も似ていますが、葉の形や切れ込み方が違うため見分けることができます。花びらのように見えるのは、がく（萼）で花びらのない花が咲きます。アズマイチゲのがくは白く、キクザキイチゲのがくは淡紫青色～白色で、紫色や青色、白色のものなどがあります。観察の森では、カタクリの広場や小鳥の森などでみられます。

また、この2種は、木々の葉が開ききると林の下には光があまり届かず成長することが出来ないため、光を浴びることができる早春の2ヶ月程の間に芽を出し、葉で栄養を作り、花を咲かせ、実を結んで来年の蓄えまで行い、その後地上部は枯れ、春まで地下の茎や根だけで過ごすという驚くべき生活史を持っています。この2種の他にも、カタクリやニリンソウなども同じ生活史を持ち、「春植物」、「スプリング・エフェメラル」と呼ばれています。

約2ヶ月間必死にがんばる植物たちにエールを送りたい！そんな気持ちになりました。

【文・イラスト：咲間】

クイズ

【もんだい】「春植物」や「スプリング・エフェメラル」と呼ばれる植物ではないものはどれでしょう？（下の3つから選んでね！）

① タンポポ



② フクジュソウ



③ カタクリ



【答えは、5ページ】



発表の様子
荒木彪我 & 堀籠瑞季

仙台市立太白小学校4年生（担任：太田先生・木村先生）のみなさんが、総合学習「自然観察の森へ行こう」で調べた成果を、2月18日に自然観察センター内研修室にて、発表してくれました。各自、一本の木を研究対象とし、四季を通して観察しました。ヒノキ、ツリバナ、マンサク、クリ、キハダ、リョウブ、ヤマボウシ、イボタノキ、クヌギ、イヌガヤ、ヤマザクラ、ケヤキ、ムラサキシキブ、ミズキ、クロウメモドキについての発表がありました。昨年、ミズキの倒木撤去で伐株が残っていたことなどから、印象深かったためかミズキが一番人気があり、大勢での発表となりました。「キハダ辞典」や「チョウジザクラ新聞」など、タイトルも工夫し、本やインターネットで詳しく調べられた内容には、我々レンジャーが知らないようなものまでありました。イラストも、上手に描けていました。分類に興味を持った生徒もいたようですが、サクラがバラ科であること、イヌガヤ（イヌガヤ科）と似ているモミがマツ科であることなど、自分で調べた内容に、素直に驚きを感じていたようです。また、最後の発表となった「クロウメモドキのひみつ」では、樹皮を黒変させた謎の菌類（？）について、それがいったい何なのか？何種類なのか？何故そこにいたのか？など、質問攻めにあっていました。これは、我々レンジャーにもよくわかりません。みなさんが今後も研究を続け、他の疑問も含め、解決してほしいと思います。



ミズキ
山下萌々



ツリバナの実
大友未彩
& 大山李紗



クロウメモドキ
阿部清真 & 佐藤和輝



～ ヤマシギの絵に ～

太白区 遠藤ます子

森のおくりものNo.222号の表紙のヤマシギの絵を見て、数年前のセンター前で、Kさんとの会話を思い出しました。Kさんが「先日森の中でシギを見たよ。」と言うのです。私はシギは水辺にいる鳥なのに森に居たとは見間違いであろうと思い、「シギって口ばしが長く、また足も長くて、水辺に居る鳥では」と言いました。するとKさんは「口ばしは長かったけど、足は短かったよ。何という名のシギか忘れたけど、旅の途中らしいよ」とのことでした。旅と聞いて私はふと西行の歌を思い出し、「心なき身にもあはれは知られけり 鴨立つ沢の秋の夕暮」という歌があるけど、そばに沢があるところでは」とたずねると、Kさんは「沢ね…そばには無かったようだったけど」とのことでした。おかしいな—と思った私は、家に帰るなり、野鳥の本を調べ、和歌の本を開き、Kさんの見たというのはヤマシギではないかと思い、百科全書で生態や習性を調べて驚きました。それというのは、以前ヤマツツジの丘に行った時に、目の前から急に大きな羽音を立てて飛び去った2羽のウズラのような鳥、あれってもしかしたらヤマシギだったのではと思い、数日後、センターへ行ってその事を話したら、Hさんが「センターの裏の繁みからヤマシギが飛び立ったのを見たことがあります。遠藤さんの見た鳥もおそらくヤマシギではないかと思えます」と教えてくれました。

長い間分からなかったことが、このような会話から始って、？が解けることもあるんだと知った時のことを思い出します。

この先も戸籍上の年齢が何才になろうとも、楽しいから、今まで通り不思議？なぜ？の三才児のような心で生きようと思っている九十九髪（つくもがみ）の乙女です。

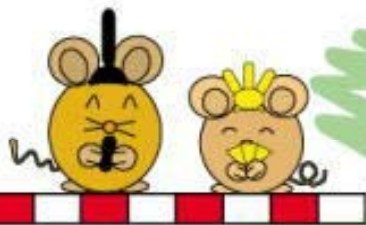
クイズのこたえ

① タンポポ



タンポポの地上部が存在する時期は春に限らないため、「春植物（スプリング・エフェメラル）」ではありません。

【咲間】



3月の催し



「みんなでつくる里山あ〜と展」

みなさんから寄せられた写真、絵画、クラフトなどを展示します。

**3月4日(木)
～ 3月28日(日)**

【会 場】自然観察センター 研修室
【開館時間】9:00 ～ 16:30

「おはよう野鳥かんさつ」

春の雑木林を歩きながら、野鳥たちの暮らしを観察します。

3月13日(土)

6:30 ～ 8:00

【持ち物】暖かく歩きやすい服装、観察用具、雨具など
(双眼鏡の無料貸出あり)

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

「ガイドウォーク」

3月のテーマは『春をさがしに』です

7日, 14日, 21日, 28日 (毎週日曜日)

午前の部 → 10:00～11:30

午後の部 → 12月～3月はありません。

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

「早春の植物観察会」

早春の臨床に日があたるわずかな期間に咲く植物たちを観察します。

3月27日(土)

10:00 ～ 11:30


【持ち物】暖かく歩きやすい服装、観察用具、雨具など


申し込み ⇒ 3月6日9時から電話にて

休館日

1日、8日、15日、23日、29日、

♪森へおいでください♪

 **宮城交通バス**
仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

 **車**
国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年3月号 (毎月1回5日発行)
発行: (財) 仙台市公園緑地協会
編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133